

令和7年度補正予算のEBPM「地域における不登校の子どもへの切れ目ない支援事業」

課題データ

- 不登校児童生徒数の現状（令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省））
- ・小中学校の不登校児童生徒数 … 約35.4万人
 - ・不登校児童生徒のうち、学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない児童生徒数 … 約13.6万人（38%）



事業

地域における不登校の子どもへの切れ目ない支援事業

令和7年度補正予算：2.6億円

学校・地域社会のいずれにもつながりが持てないなど、不登校の子ども・保護者が抱える悩みやニーズ等に応じ、各地域において、子どもの育ちの観点からきめ細かく対応する支援策の実証や体制構築を支援する。

- ・地域において、教育委員会と連携するほか、必要に応じて関係機関・民間施設等と連携し、不登校の子どもの心身の状況や、休み始めから回復するまでの時期に応じた支援の手法等についての開発・実証
- ・教育委員会との連携に当たって首長部局の窓口の役割を担ったり、不登校の子どもや保護者のサポートを行うために医療や福祉などの関係機関等との連携・調整を行ったりするコーディネーターの活用により、首長部局における支援体制の構築

※アウトプット、アウトカムの（ ）内は直近の実績値

EBPM指標

アウトプット

モデル事業を実施する自治体数 **2026年度 16自治体**（11自治体）

短期 アウトカム

モデル事業を実施する自治体のうち、相談につながっていない子どもの数（割合）が低下した自治体の割合
2026年度 8割

長期 アウトカム

学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校の児童生徒の割合（現状39%）の低下

目標

子ども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な育成環境の提供

すべての子ども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

子ども・若者の幸福な生活 / **少子化トレンドを大きく変える** / **未来を担う人材の育み**